

## 論 壇

—今こそ農業教育の充実を!

## 安全・安心な食を支える人材育成に邁進

我が国の2025年におけるカロリーベースの総合食料自給率は38%である。食料・農業・農村基本計画では、2030年までに45%まで高める目標を掲げているが、上向く予兆すら感じられない。一方で、世界人口は昨年80億人を超えて、9人に1人が慢性的な飢餓に直面している。人類は、今世紀半ばには100億人を超える人口を養っていくことができるのだろうか。

世界的には、緊迫する国際情勢に加え、異常高温・干ばつ・集中豪雨など地球温暖化による生産量の低下が懸念され、国内では化学肥料などの高騰に農家は悲鳴を上げ、飼料價格の高騰は酪農家の離農に拍車をかけている。政府は、食料安全保障を柱とする食料・農業・農村基本法の改正案を検討中である。

報道によると、食料危機時の対応として、国が農家等に対して増産や生産転換を要請指示することなどが強調されているが、重要なのは国民のコンセンサスを得て自給率向上の

ための具体的道筋を示すこと、そして担い手の育成ではないだろうか。

ロシアのウクライナ侵攻による世界の穀物価格高騰や円安の影響などにより、我が国の食品価格が上昇し、国民の食と農業に対する関心が高まっている。これを契機にして、今こそ幅広い世代への農業教育の充実が求められる。

高度成長期以降、人々と農業が分断され、多くの国民は自分たちが食べているものがどのように生産されたものかを考えることもなくなってきた。私たちの身体は私たちが食べたものでできている。人間は生きいくためのエネルギーを食べ物、すなわち他の生物から摂って生きている。人類もこの地球上に生きる一つの種であり、地球上に生きる数えきれない生物の多様性の中、他の生物の命を頂いて生きている。その源は、太陽エネルギーであり、植物の光合成によって支えられる人

## 全私学新聞

発行所  
一般社団法人全私学新聞  
〒102-0074 東京都千代田区  
九段南2-4-9 第三早川ビル4階  
電話 03(3265)7551-3  
FAX 03(3261)7323  
振替口座 00120-1-652122  
発行人 白井 克彦  
講読料 1年 19,000円  
©一般社団法人全私学新聞 2024

私学の経営と  
教育に役立つ  
新聞です。  
<https://www.zenshigaku-np.jp>

る。農を学ぶということは、このことを体感的に理解することである。

拓殖大学北海道短期大学（以下、本学）は、1966年に学校法人拓殖大学が、我が国に

おけるフロンティアの地である北海道の発展のために、農業と保育を担う人材育成を目的として開設した短期大学である。本学の最大

の強みは、全道一ともいえる地力の高い実験

実習農場（面積4ha）を校舎に隣接して有

していることである。学生たちは、座学と実

習で農業の基礎を実践的に学ぶ。本学は、気

象的にも恵まれた北海道の中央部に位置する

深川市において、寒地では栽培が難しいとさ

れていたサツマイモやラッカセイの試作にい

くなくなった。私たちの身体は私たちが食べ

たものでできている。人間は生きいくため

のエネルギーを食べ物、すなわち他の生物から

摂って生きている。人類もこの地球上に生き

る一つの種であり、地球上に生きる数えきれ

ない生物の多様性の中、他の生物の命を頂

いて生きている。その源は、太陽エネルギー

であり、植物の光合成によって支えられる人

は、このをしっかりと意識することが必要であ

る。農を学ぶことによって、協定を締結した。その第一の取り組みとして、深川市内の新規就農者を対象に農業の基礎を学ぶ冬期特別講座をこの2月に開講した。

また、本学では正規の学生に加えて、拓殖

大学国際学部の3年生を科目等履修生として

毎年20から30名受け入れている。学生たちは、

半年ないし1年間短大生と共に農業を実践的

に学び、その経験を活かして青年海外協力隊

や農業関連の道へ進む。今後は、他大学の学

生も本学で農業が学べる新たな仕組みを構築

したいと夢見ている。

北海道美唄市の小学校では、総合的な学習

の時間に「農業科」と題して地元の農業につ

いて教える授業を始めた。小学校の農業科の

取り組みは、福島県喜多方市に次いで全国2

と位置付けられるまでに普及している。農學

例目だという。本学と教育提携関係にある札

幌静修高校は、通信制課程に生徒が農業を体

験できるアグリコースを設置している。本学

は、このような取り組みを講師派遣などによ

り支援し、農業王国北海道の唯一の農業系短

大として、安全・安心な日本の食を支える人

材の育成に邁進する所存である。

拓殖大学北海道短期大学 学長 田中 英彦